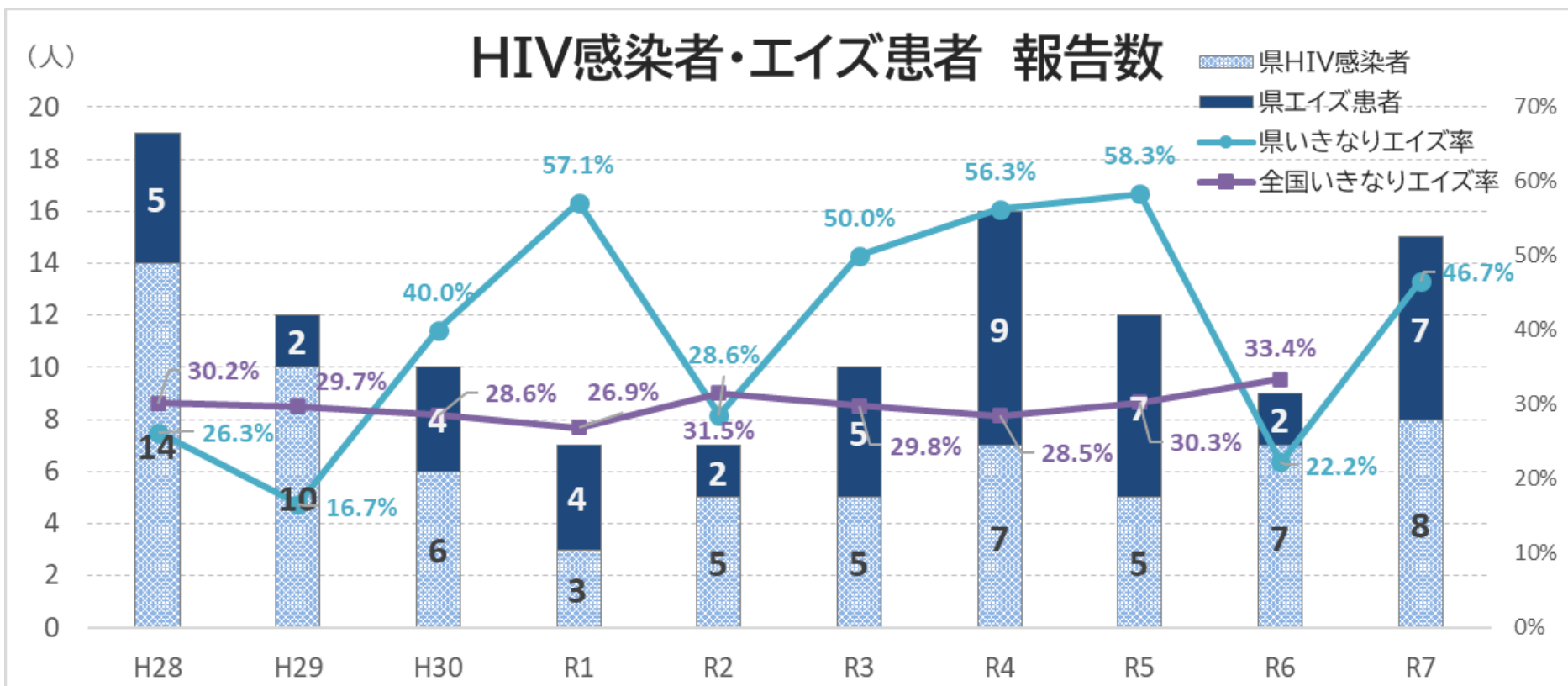


熊本県における H I V 対策について

熊本県健康福祉部健康危機管理課

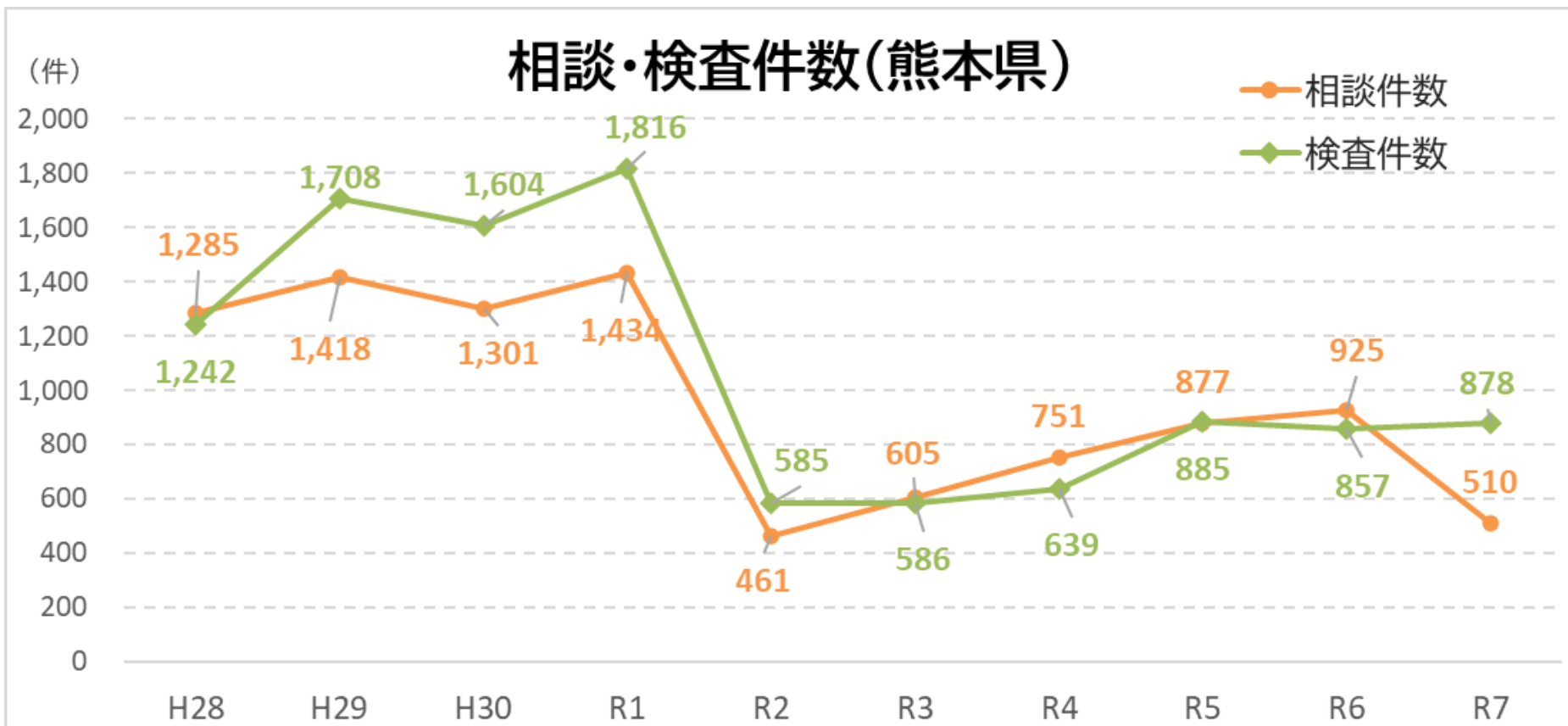
1. 熊本県の現状（1）

- 熊本県の令和7年のHIV感染者は8人、エイズ患者は7人、いきなりエイズ率は46.7%であった。
- 前年からHIV感染者数、エイズ患者数、いきなりエイズ率のいずれも増加した。



1. 熊本県の現状（2）

- 令和7年の保健所におけるHIV相談は510件、HIV検査は878件であった。
- 新型コロナウイルスの影響による大幅な減少から、完全に回復できていない状況。



4 / 2. 早期診断に向けた施策 (検査機会の拡充)

医療機関検査

➤ 対象者

熊本県内在住者

➤ 医療機関

熊本県内の皮膚科、泌尿器科、
産婦人科等33か所（各保健所圏域1か所以上）

➤ 検査内容

HIV及び梅毒の検査（セット）
匿名・受検者自己負担1,000円

➤ 陽性時

中核拠点病院での確認検査・受診を勧奨
検査結果通知から1か月以上受診が
確認できない場合は、受検者に電話で確認

郵送検査

➤ 対象者

熊本県内在住者

➤ 検査内容

HIV及び梅毒の検査（セットのみ）
匿名・受検者自己負担550円

➤ 陽性時

中核拠点病院での確認検査・受診を
勧奨

2. 早期診断に向けた施策

(普及啓発)

SNS広告による受検勧奨・普及啓発

➤ 配信媒体

Yahoo! 検索広告、Google検索広告、
Meta広告、LINE広告

➤ 配信期間

令和7年11月27日～12月26日、
令和8年1月6日～1月15日

➤ 配信画像

右図参照

➤ クリック遷移先

県ホームページ

➤ 広告目標

郵送検査の申込フォームリンククリック 又は
医療機関検査受診前アンケートリンククリック



3. 長期療養に対する施策

(予防薬配置)

HIV予防薬の配置

➤ 目的

医療機関や訪問看護先等で、
針刺し切創・皮膚粘膜曝露事象が
発生した場合のHIV感染を防止する

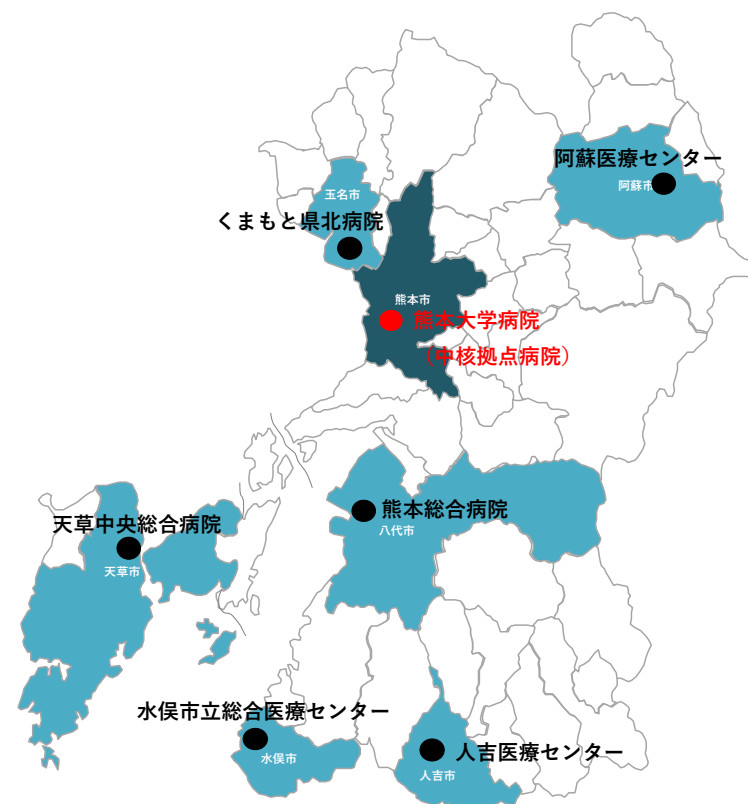
➤ 医療機関

県内7か所（右図参照）

➤ 配置薬

アイセントレス錠400mg

デシコビ配合錠HT



7 / 3. 長期療養に対する施策 (診療体制)

カウンセラーの派遣

HIV患者に対するカウンセリングを実施するため、中核拠点病院に専門カウンセラーを派遣。（年間56回。1回あたり3時間）

「HIV陽性者一般歯科治療受け入れ可能診療所リスト」の作成

県歯科医師会と共同でリストを作成。

中核拠点病院、県歯科医師会及び県で共有し、HIV患者の一般歯科治療の紹介に活用。（受け入れ可能診療所：県内20か所）

終わり

ご清聴ありがとうございました
